

は種前(床土混和)・は種時処理専用剤



農林水産省登録  
第23737号

殺虫殺菌剤

# ファーストオリゼ<sup>®</sup> プリンス<sup>®</sup>スピノ<sup>TM</sup> 粒剤 6

プリンス<sup>®</sup>はBASF社の登録商標 スピノ<sup>TM</sup>はザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

スピノサド・フィプロニル・プロベナゾール粒剤

## 3つのパワーで防除する!

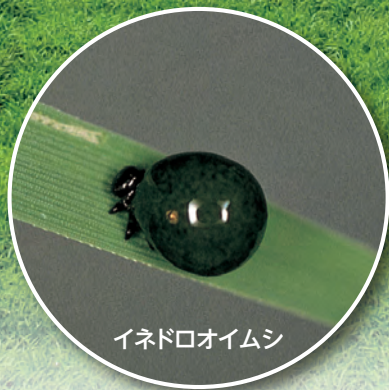
特長

- ◆プロベナゾールはイネいもち病に安定した高い効果を発揮します。
- ◆異なる殺虫メカニズムのフィプロニルとスピノサドが組み合わせられることで相乗効果が発揮され、優れた効果を示します。

殺虫剤分類	5,2B
殺菌剤分類	P2



いもち病



イネドロオイムシ



フタオビコヤガ



# 本剤は「は種前(床土混和)」または「は種時」処理専用剤です。

農林水産省登録 第23737号

# ファーストオリゼ<sup>®</sup> プリンズ<sup>®</sup> スピノ<sup>™</sup> 粒剤6

有効成分:スピノサド…0.75%・フィプロニル…0.60%・プロベナゾール…20.0% 人蓄毒性:普通物※  
※毒劇物に該当しないものを指している通称

## ファーストオリゼプリンズスピノ粒剤6の特長

### 1 水稻の主要病害虫の同時防除が可能!

は種前(床土混和)またはは種時処理により、水稻の主要病害虫であるいもち病、イネドロオイムシ、フタオビコヤガなどを同時に防除できます。

### 2 抵抗力を誘導する「ファーストオリゼ」!

ファーストオリゼ(プロベナゾール)はイネの病害抵抗性を誘導し、安定した防除効果が長期間持続します。耐性菌出現の可能性が極めて低く、現存の各種いもち病防除薬剤に対し感受性が低下したいもち病菌にも優れた防除効果を示します。

### 3 ユニークな相乗効果「プリンズ+スピノ」!

異なる殺虫メカニズムのプリンズ(フィプロニル)とスピノ(スピノサド)が組み合わせられることでユニークな相乗効果が発揮され、優れた効果を示します。

#### ◎適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピノサドを含む農薬の総使用回数	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオイムシ	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に 均一に混和する。	1回	1回	2回以内 (移植時までの 処理は1回以内)
	は種時 (覆土前)		育苗箱の床土に 均一に散布する。					

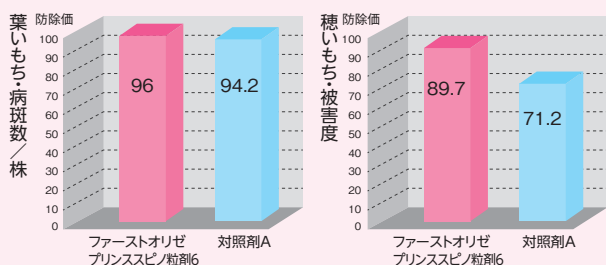
#### ⚠使用上の注意事項

- 本剤を育苗床土に混和する場合には葉害を生じる場合があるので、下記の注意事項を遵守して下さい。
  - ①山土、畑土等を使用する場合は、十分に乾燥させてから使用して下さい。
  - ②粒剤を混和した床土は高温多湿での保管を避け、すみやかに使用して下さい。
  - ③粒剤が破砕されるような過度な混和は避けて下さい。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめて下さい。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は葉害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後の田面が露出したりしないよう水管理に注意して下さい。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用を避けて下さい。
- 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予想される場合は使用を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- 誤食などのないよう注意して下さい。
  - 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。
  - 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用して下さい。
  - 作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
  - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
  - かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けて下さい。
  - 夏期高温時の使用を避けて下さい。
  - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。  
水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 保 管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

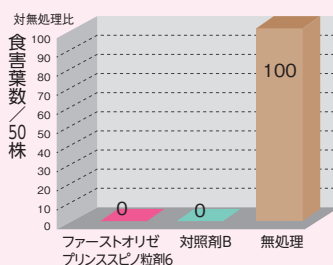


#### いもち病に対する防除効果 (2014年 宮城県古川農業試験場)



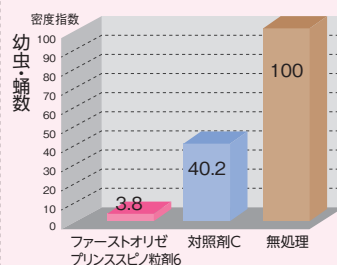
【病害虫発生状況】葉いもち:少発生(接種) / 穂いもち:少発生  
【処理月日】5月2日(は種時覆土前)  
【耕種概要】品種:ひとめぼれ 移植:5月22日 出穂日:8月5日

#### フタオビコヤガに対する防除効果 (2014年 福井県植物防疫協会)



【病害虫発生状況】中発生  
【処理月日】4月17日(は種時覆土前)  
【耕種概要】品種:コシヒカリ 移植:5月11日

#### イネドロオイムシに対する防除効果 (2014年 石川県植物防疫協会)



【病害虫発生状況】中発生  
【処理月日】4月4日(は種時覆土前)  
【耕種概要】品種:コシヒカリ 移植:5月8日

- 使用前にラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。
- 防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ／ご注文は